



# 京築連帯アメニティ都市圏構想

産業集積とゆとりある居住環境をともに



京築連帯アメニティ都市圏推進会議  
行橋市 豊前市 荻田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町 福岡県











## 進むインフラ整備と自動車関連産業の集積

昭和五〇年、北九州市に隣接する苅田町に日産自動車九州工場が操業を開始します。これがまさに九州における自動車産業の歴史の始まりでした。

そして、平成十六年のダイハツ車体（現在のダイハツ九州）の大分県中津市への移転、十七年のトヨタ自動車九州苅田工場操業開始により、更に集積が進み、現在、京築地域には数多くの自動車関連の企業が立地し、「カーアイランド九州」の拠点として重要な役割を担っています。

## 「京築産業力新時代」

平成十八年に開港した北九州空港や整備が進む東九州自動車道、重要港湾苅田港、JＲ日豊本線など広域交通網、物流インフラ整備によって、さらに工場立地が進む京築地域。北九州から中津をつなぐ産業ベルト地帯がかたちづくられ、二十四時間運用の空港の活用による農林水産物の首都圏市場への進出など、新たな可能性も開けてきました。

経済発展と自然環境の豊かさの両立。それは、新時代における京築地域の産業力の目指す姿です。

人、モノの流れを支える陸海空のインフラ。九州における自動車産業の集積は、京築地域から。今後も、その社会的実績を伸ばしていきます。

# 自動車産業の歴史の原点として

- 1 北九州空港
- 2 トヨタ自動車九州（株）九州苅田工場
- 3 日産自動車（株）九州工場
- 4 ダイハツ九州（株）大分（中津）工場



- 1 北九州空港
- 2 主要地方道厚川豊前線
- 3 板笠木（行橋市）
- 4 高の宮大橋（築上町）





本社の大樹 (朝上町)

谷筋に三二一もの神楽講が残る  
 伝統文化と民俗芸能息づくふるさとを  
 受け継いでいきます。

# 豊かな自然に囲まれ 神々が舞う里

神々と泣き、笑い、  
 生きるふるさと

神楽とは、神々をなぐさめ、祈りを捧げるために奉納される歌舞のこと。  
 その起源は古く、五穀豊穡や無病息災を願って、本来、神殿で神官によって奉納されていましたが、神と人とを繋ぐ躍動感あふれる舞や歌は、やがて里に降り、民衆によって受け継がれてきました。  
 全国各地の神楽が、時代の流れとともに途絶えていく中、京築地域には、今も三二一の神楽講があり、地域の人々によって大切に守られ、子どもたちへと伝えられています。

## 求菩提山の修験道文化

また、京築地域を象徴する「求菩提山」は日本三大修験道の山「英彦山」とともに、修験者たちが悟りを求めて厳しい修行に挑み、山の神に祈りを捧げた



- 1 三毛門神楽 (豊前市)
- 2 土屋神楽 (吉富町)
- 3 友枝神楽 (上毛町)
- 4 今井紙屋祭 (行橋市)

場所です。  
 今なお残る神社仏閣や、「松会」「お田植祭」などの神事に、修験道文化の精神をうかがい知ることが出来ます。  
 山々の自然に囲まれ生きていく中で生まれた祈りのかたち。京築地域の暮らしの風景には、その「人と自然との共生」という精神が息づいています。



- 5 菊田山笠 (菊田町)
- 6 生立神幸祭 (みやこ町)
- 7 松尾山お田植祭 (上毛町)
- 8 神船渡 (吉富町)
- 9 紙屋祭 (豊前市)



6